

種鳩の感染症予防、年間プログラム

配合前 (12~1月)

1. 虫下し・・・塩酸レバミゾール 6g/水 1ℓ又はピランデル 1包 10羽、3日連続
2. 抗コクシジウム・・・スルファモノメトキシシ 2.4g/ℓ、5日連続
3. コクシジウム消毒・・・明治ゾール (発火性があるため自然乾燥)
4. ニューカッスル生ワクチンの点鼻

配合直前

5. 抗サルモネラ・大腸菌・・・ノルフロキサシン 6 ml/ℓ、5日連続
*ここ数年、死ごもり・嘴うち・雛の死亡が観られた場合
メトロニダゾール 6錠+ノルフロキサシン 6 ml/ℓ、5~10日連続にする。
*それでも効果が無い場合
アモキシリン 6g+ゲンタマイシン 4.5g/ℓ 5~10日連続にする。

6. サルモネラ・雑菌・カビ消毒・・・アストップ散布後、ガスバーナーで乾燥。

7. 生菌剤・・・生菌ビタミン 6g/ℓ、3日連続投与後、状態を観察して配合。

*1日1回エサにサトウキビ抽出物含有製剤をまぶして与える(1年中の投薬が望ましい)。

*老鳩には、1日1回リゾース含有製剤+アミノ酸+ビタミンEも与える(巣引き期間中)。

8. 抗トリコモナス・・・メトロニダゾール 4錠/ℓ、5日連続

種鳩は抱卵時(一番仔・二番仔・・・それぞれ)に投与すると効果的。

9. 雛孵化後、ホルサワー 2g + サンジョイント 2g/ℓ 投与飲水、

アミノ酸 1g/10羽を餌に混ぜる。

10. ニューカッスル生ワクチンの点鼻

分離雛、24日齢(一番仔・二番仔・・・それぞれ)

入梅時

11. 呼吸器感染(涙眼・鼻瘤の変色)・酒石酸酢酸タイロシン 0.8g/ℓ 3~6日連続

巣引き終了後(7月)

12. 虫下し・・・塩酸リペルコール 2g/ℓ又はピランデル 1包 10羽、3日連続

13. 抗トリコモナス・・・メトロニダゾール 2錠/ℓ、5日連続

14. 飲水器消毒・・・漂白剤

15. 抗コクシジウム・・・スルファモノメトキシシ 0.8g/ℓ、5日連続

16. コクシジウム消毒・・・明治ゾール(発火性があるため自然乾燥)

17. 抗サルモネラ・マイコプラズマ等・・・ドキシサイクリン 1.5g/ℓ、5日連続

18. サルモネラ・雑菌・カビ消毒・・・アストップ散布後、ガスバーナーで乾燥。

19. 生菌剤・・・生菌ビタミン 2g/ℓ、3日連続

20. ニューカッスル生ワクチンの点鼻

*若い種鳩は、ND オイルワクチン 0.5ml 筋肉または皮下注射する。

*サルモネラ菌汚染鳩舎は、1年中サトウキビ抽出物質含有善玉菌を投与する！

選手鳩の感染症予防、年間プログラム

レース前 (12月)

1. 虫下し・・・塩酸レバミゾール6g/水1ℓ又はピランデル1包10羽、3日連続
2. 抗コクシジウム・・・スルファモノメトキシシ 2.4g/ℓ、5日連続
3. コクシジウム消毒・・・明治ゾール (発火性があるため自然乾燥)
4. 抗サルモネラ・マイコプラズマ等・・・ドキシサイクリン4.5g/ℓ、5日連続
5. サルモネラ・雑菌・カビ消毒・・・アストップ散布後、ガスバーナーで乾燥。
6. 生菌剤・・・生菌ビタミン6g/ℓ、3日連続投与

春のレース期間中

7. 免疫増強剤・・・持ち寄り3日前から前日まで、4g/ℓを飲水投与
持ち寄り日は、真水にする。
8. ソノウ炎 (嘔吐・緑便)・・・メトロニダゾール4錠+ノルフロキサシン4ml/ℓ
*600K 終了時、レース帰還後3~4日してから5日連続
その後、生菌ビタミン4g/ℓ3日連続

入梅時

9. 呼吸器感染 (涙眼・鼻瘤の変色)・・・酒石酸タイロシン1.6g/ℓ3~6日連続

飛ばし込む前 (7月初旬)

10. 虫下し・・・塩酸レバミゾール2g/ℓ又はピランデル1包10羽、3日連続
11. 抗トリコモナス・・・メトロニダゾール2錠/ℓ、5日連続
12. 飲水器消毒・・・漂白剤
13. 抗コクシジウム・・・スルファモノメトキシシ 0.8g/ℓ、5日連続
14. コクシジウム消毒・・・明治ゾール (発火性があるため自然乾燥)
15. 抗サルモネラ・マイコプラズマ等・・・ドキシサイクリン1.5g/ℓ、5日連続
16. サルモネラ・雑菌・カビ消毒・・・アストップ散布後、ガスバーナーで乾燥。
17. 生菌剤・・・生菌ビタミン2g/ℓ、3日連続
18. ニューカッスルオイルワクチン0.5ml・・・筋肉または皮下注射
19. 鳩痘生ワクチン・・・菌ブラシで皮内接種、アルコールは使わない。

飛ばし込む時期毎日 アスタキサンチン含有善玉菌製剤・・・10羽に1g

秋の合同訓練・レース期間中 (9月)

20. ニューカッスル生ワクチン・・・最初の合同訓練、持ち寄り1週間前に点鼻
21. 鳩アデノウイルス感染症様疾患等の予防・・・持ち寄り4日前から前日まで、免疫増強剤を2g/ℓを飲水投与。持ち寄り日は、真水にする。
22. 鳩アデノウイルス感染症様疾患(嘔吐・緑便)の治療
メトロニダゾール4錠+ノルフロキサシン4ml/ℓ、5日連続投与後、飲水器消毒 (漂白剤)。その後、善玉菌、テプレノン、トラネキサム酸、強肝剤等の投与。
*嘔吐している期間は、エサを少なめにして、舎外を止める。ドンペリドンの投与。